



泉小学校コミュニティ・スクールだより

いずみっこ応援団!! R7年度 第4号

～学校と地域が手を取り合って～ (Vol.22)

令和7年度のコミュニティ・スクール(CS)の活動も無事に終了することができました。新しい試みも多かった今年度ですが、皆様の御理解、御協力のおかげで子供たちにとってとても有意義な学びの時間となりました。心より感謝いたします。最後まで盛りだくさんだった活動の様子を是非御覧ください。

☆☆ 1年 むかしからつたわるあそびをたのしもう (生活科) ☆☆



1年生はボランティアの方々と、お手玉、けん玉、ヨーヨー、コマ、おはじき、だるま落としなどの昔遊びを楽しみました。知ってはいるけれど触るのは初めてという子供たちは、自分たちから積極的に「どうやってやるんですか?」とボランティアの方々に聞いていました。遊び方やコツを丁寧に教えていただき、「できたよ!見て!」と夢中になる子供たち。ついついお友達との距離も近くなってしまいます。そんな時もボランティアの方々がけがにつながらないように、その都度声掛けをしてくださっていました。初心者が大多数ではありましたが、中には名人並みの腕前の子もちらほら。そんな子には他の子に教えてあげるように促して下さったり、教え方を褒めてくださったりしたおかげでどの子にとっても楽しく充実した時間となりました。

☆☆ 3年 トントンどんどんくぎうって (図画工作) ☆☆

3年生に釘打ちを教えてくださいましたのは石澤建築の石澤様。4年生ののこぎりに続いて、こちらも数種類の木材や釘を子供たちのために御用意いただきました。げんのうの使い方や釘を打つ際の注意点を教えていただいたら、いよいよ作業開始です。初めは恐る恐る釘を打っていた子も、慣れてくるにつれてげんのうを振り下ろす手に力がこもるようになっていきました。曲がってしまった釘を抜きたい、木材をつなげたいけれどどう釘を打ったらよいか分からない、そんなときは石澤様に相談すれば即解決!鮮やかな手捌きで子供たちのリクエストにこたえてくださり、子供たちはそのプロの技に感嘆しきりでした。木材に釘で模様を描く子、釘を耳やしっぽに見立てて動物を作る子など、皆思い思いの作品作りを楽しんでいました。



☆☆ 6年 こんだてを工夫して (家庭科) ☆☆



6年生2回目の調理実習はジャガイモを使った料理です。包丁でジャガイモの皮むきをする以外、使う食材も調理方法も、いくつかのルールの中で子供たちがそれぞれに決めています。子供たちは自分が作りたいもののレシピを事前に調べ、各自がその計画に沿って進めていきます。そうするとボランティアの方々のフォローが必須です。皮むきに苦戦する子を手助けしつつ、他の食材を切り始めた子にも均一に火が通るように切り方をアドバイス。レンジの加熱時間を調整しつつ、隣で熱せられているフライパンが熱くなりすぎていないかをチェック、といった具合で皆の料理がおいしく仕上がるように気を配っていただきました。失敗も良い経験と思いつつ、子供たちに成功体験を積んでほしいという皆様の気配りのおかげで、試食テーブルは「おいしい!」という子供たちの笑顔でにぎわっていました。

☆☆ 4年 日本の音楽でつながろう～箏～ (音楽)

4年生のために「静邦会」の皆様が箏教室を開いてくださいました。優雅な音色で出迎えてくださり、その後すぐに6グループに分かれて「さくらさくら」の練習が始まりました。爪のつけ方から譜面の読み方、何から何まで初めて尽くしの子供たちは真剣そのものです。わずかな指の動かし方で音色が変わる箏を目の前にして、その繊細さと奥深さを驚きとともに実感したようです。その後グループ毎に代表者を決めて「さくらさくら」を合奏しました。尺八についても教えていただき、サプライズで泉小の校歌も演奏していただきました。最後は皆様がディズニーメドレーを演奏して下さって素敵な授業の締めくくり。聴きなじみのあるメロディーに子供たちはここにこと顔を見合わせながら聴き入っていました。子供たちの中には「静邦会」の皆様にご直接感想やお礼を伝えた子もいて、大変喜んでいただけました。限られた時間の中で目一杯子供たちを楽しませてくださった皆様に感謝です！



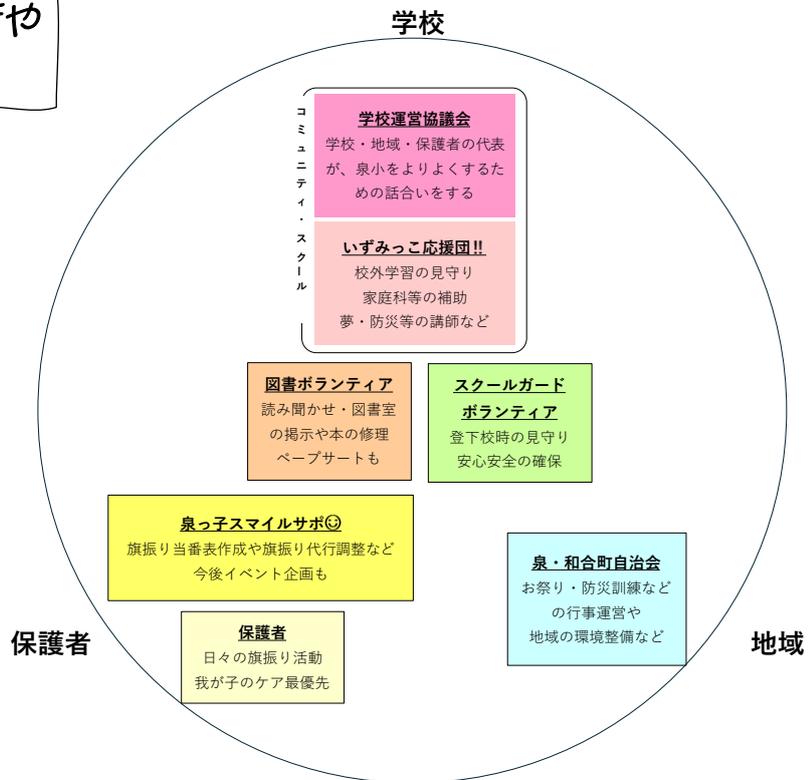
☆☆ 2年 スーホの白い馬～馬頭琴～ (国語) ☆☆☆



「スーホの白い馬」を学習した2年生。楽器博物館元学芸員の佐藤様にお越しいただき、物語に登場する馬頭琴という楽器や、舞台であるモンゴルの暮らしについて教えていただきました。馬のしっぽの毛を束にして弦にしている馬頭琴。毛の表面がギザギザしているため、それをこすり合わせることで音になるそうです。子供たちが各クラス一人ずつ、実際に弾かせていただきました。「スーホの白い馬」に合わせて作られた曲を、情景を思い浮かべながら聞いたり、モンゴルの方々が故人を偲ぶために作る楽器のことを教えていただいたりと、その文化について様々な観点から学ぶことができました。自分たちの生活とは全く違うその暮らしぶりに、子供たちは興味津々！佐藤様の巧みな話術も相まって、エピソードの一つ一つに「え～!!」と大きな声を上げて驚いていました。佐藤様の実体験を聞かせていただいたことで、物語をより深く理解できたのではないかと思います。

♪様々な組織の皆様が、子供たちの生活や学びをサポートしてくださっています♪

泉小に学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクール「いずみっこ応援団!!」がスタートして6年が経過しました。学校の授業に保護者や地域の皆様に参加することにより、より充実した授業が行われるようになりました。その間にはコロナ禍も経験し、子供たちを取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。泉小においても時代に合わせてPTAが形を変え、有志の保護者によって旗振り活動の運営組織「泉っこスマイルサポ😊」(通称:スマサポ)が設立されました。保護者の皆様それぞれの御事情に、より柔軟に対応できる仕組み作りのために御尽力いただいています。泉小校区の通学路はその交通量の多さから旗振りは欠かせないものです。子供たちの安全を守る様々な組織の中にこうして新しく「スマサポ」が加わってくれたことは、私たち「いずみっこ応援団!!」にとっても大変心強く、ありがたいことだと思っています。先生方も、保護者の皆様も、地域の方々も、立場は違っても皆「子供たちのために」という思いは同じです。「いずみっこ応援団!!」はそうした様々な立場の皆様の思いを受け止め、連携を呼び掛け、具体的な活動へとつなげていくことがその大きな役割とっておりますので、これからも皆様の御理解、御協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



コミュニティ・スクール『いずみっこ応援団!!』
公式 LINE VOOOM にて活動記録を配信中！

←公式 LINE はこちら！是非御覧ください！

来年度も皆様の御参加をお待ちしております♪

